

酒とパソコンと少々ミルク

シングルボードPCにはまる

成光 昭男

日々の仕事に追われ、目先のことばかり追いかけている自分にふと気が付きます。心にゆとりがないと、良い発想もできないし、良い仕事もできません。たまには遊んでリフレッシュしましょう。

台風襲来の日、8月末に購入し、設定に手こずっていた、シングルボードPC(SBC)を持ち出し、遊びだしました。

このSBCは「Raspberry Pi Model B+」(ラズベリーパイ・モデルビープラス)。Facebookの「Raspberry Piと遊ぼう!」のページに誘われて、衝動買いしたものです。



100均のタッパーに収まっている本体は、9cm × 6 cm程しかなく、蓋に張り付いているのは、別売のカメラです。体は小さいけれども、能力は結構優秀で、センサーを装着して、牛舎やハウスに置いて、色々遊べそうです。

日頃使っているPCと大きく違うのは、すべての設定を自ら行う必要があることです。インターネット上に親切な説明が書かれていますが、このような説明書きで、この手の物件を上手く設定できることは、まずありません。

案の定、最初に引っかかってしまったのが、無線LANの設定です。無線LAN自体は、USBに差し込むだけで、認識され簡単に接続することはできました。しかし、このRaspberryをサーバとして利用するためには、少し工夫をしなければなりません。そのための細工のために、設

定をいじくっていたら、インターネットに接続できなくなってしまったのです。

色々調べても、設定には問題はないはずでした。しかし、どうしてもインターネットにつながりません。

結局、解決のために、半日を費やすことになってしまいました。パソコンとにらめっこで、眼はしょぼしょぼ、肩はコリコリで、リフレッシュどころではありません。

マニュアルには書かれてはいないけれども、ひょっとして必要な記述ではないかと思うことを、設定ファイルと呼ばれるものの中に、たった1行、18文字を書き加えることで解決できてしまいました。

久しぶりにPCをいじり、問題をクリアして、気を良くして、さらに、カメラの画像の取得に挑戦。他のPCから、ブラウザで見ることに成功しました。



歳のせいか、PCの画面を長時間見つめるのがつらくなってきましたが、どつぷりと、シングルボードPCにはまってしまった1日でした。

それにしても、マニュアルはとても便利で助かるものですが、完璧なマニュアルはありません。マニュアルを参考にしながらも、自分の知識と経験を踏まえた工夫と判断が必要なことを痛感したところでした。